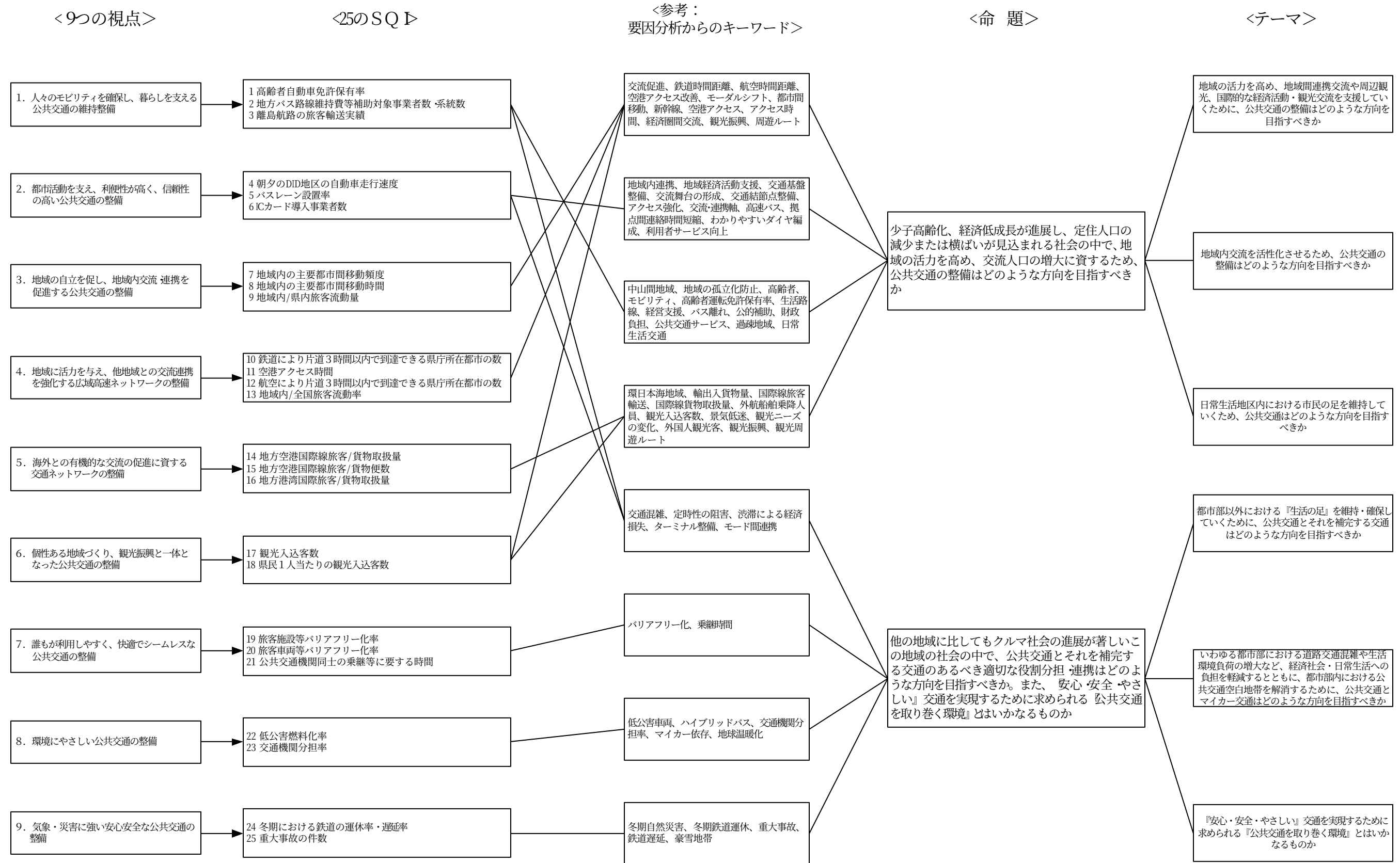


これまでのご審議等を踏まえた検討の流れについて

資料 1－2



命題Ⅰ：少子高齢化、経済低成長が進展し、定住人口の減少または横ばいが見込まれる社会の中で、地域の活力を高め、交流人口の増大に資するため、公共交通の整備はどのような方向を目指すべきか

テーマ1：地域の活力を高め、地域間連携交流や周辺観光、国際的な経済活動・観光交流を支援していくために、公共交通の整備はどのような方向を目指すべきか

主な現状と課題

- ・三大都市圏までの時間距離抵抗に伴う連携交流の阻害
- ・空港、新幹線駅などへのアクセス不便
- ・拠点間連絡時間の短縮による交流促進
- ・国際的な経済・観光交流需要に対し交流基盤（空港、港湾）の整備の遅れ
- ・環日本海地域までも視野に入れた観光ルートの不足
- ・全国的に統一された観光統計手法の未確立

施策検討の基本的方向性

1. 幹線交通の整備・充実

- ・高速交通手段の整備・充実を進め、三大都市圏等の広域拠点間との連絡時間の短縮を図る。
- ・北陸信越地域と近隣地域間を繋ぐ高速基盤の整備を図る。
- ・国際的な経済活動、観光交流の活発化を促進するとともに、環日本海ゲートウェイとしての連携機能強化を図る。

2. 二次交通の整備・充実

- ・広域的高速交通基盤と地域交通の連携強化を図る。
- ・魅力ある観光ルートの形成を進め、周遊観光の振興を図る。

テーマ2：地域内交流を活性化させるため、公共交通の整備はどのような方向を目指すべきか

主な現状と課題

- ・地形的、気象的要因に起因する地域内連携の停滞・遅れ
- ・地域が一体となった地域内連携の活発化
- ・地域内連携軸の形成

施策検討の基本的方向性

- ・地域内社会の交流を促進するための交通基盤（インフラ）整備を図る。
- ・連携拠点となる交通結節点の利便性確保とアクセス改善を図る。
- ・公共交通網の高速化を進め、拠点間連絡時間の短縮を図る。
- ・公共交通利用者の利便性を確保する運用を目指し、サービス向上に努める。

テーマ3：日常生活地区内における市民の足を維持していくため、公共交通はどのような方向を目指すべきか

主な現状と課題

- ・急速な高齢化や人口減少、マイカー依存の増大等による公共交通利用者の減少
- ・公共交通の採算悪化に伴う路線縮小・廃止の機運
- ・通院その他の局面において、自ら自動車を運転できない高齢者のモビリティ確保

施策検討の基本的方向性

- ・地区内交通を維持し、サービスの高度化を進めるため、デマンド型交通などの新たな輸送手段の導入を進める。
- ・交通不便地域における公共交通維持存続のための積極的な支援を図る。
- ・何らかの公共交通手段存続により、地域の孤立化を防止する。

命題Ⅱ：他の地域に比してもクルマ社会の進展が著しいこの地域の社会の中で、公共交通とそれを補完する交通のあるべき適切な役割分担・連携はどのような方向を目指すべきか。また、『安心・安全・やさしい』交通を実現するために求められる『公共交通を取り巻く環境』とはいかなるものか

テーマ1：都市部以外における『生活の足』を維持・確保していくために、公共交通とそれを補完する交通はどのような方向を目指すべきか

主な現状と課題

- ・急速な高齢化や人口減少等により公共交通の利用者の減少
- ・需給調整規制廃止に伴う不採算路線からの撤退と地域による代替手段の確保
- ・デマンドバスや乗合タクシー等の新たな交通サービスの提供へのニーズの高まり
- ・当該地域内交通と幹線交通との結節の不便

施策検討の基本的方向性

- ・ デマンド型交通など新たな輸送手段の導入を進める。
- ・ 地域内社会の流動を確保するための交通基盤（インフラ）維持を図る。
- ・ いわゆる従来型の「乗合バス型輸送手段」からの発想の脱却を図る。
- ・ 自家用自動車の利便性や機動性を公共交通の補完的手段として活用することを検討する。
- ・ 地域提案/参加型の交通計画策定への国の積極的支援を図る。

テーマ2：いわゆる都市部における道路交通混雑や生活環境負荷の増大など、経済社会・日常生活への負担を軽減するとともに、都市部内における公共交通空白地帯を解消するために、公共交通とマイカー交通はどのような方向を目指すべきか

主な現状と課題

- ・ 特に都市部におけるマイカー依存の高まりと公共交通利用の低迷
- ・ 慢性的な道路交通混雑と生活環境負荷の増大による経済社会・日常生活への負担の高まり
- ・ 都市の拡大に伴う交通空白地帯の広がり

施策検討の基本的方向性

- ・ マイカーからの利用転換を促す公共交通サービスの向上を進めるとともに、一定の条件の下でのマイカー利用抑制を検討する。
- ・ 交通空白地帯におけるマイカーと公共交通との結節性を高める。

テーマ3：『安心・安全・やさしい』交通を実現するために求められる『公共交通を取り巻く環境』とはいかなるものか

主な現状と課題

- ・ 特に冬期における事故・運休等の発生の高まり
- ・ 高齢社会における高齢者等の移動の円滑化へのニーズの一層の高まり
- ・ クルマ社会における環境にやさしい交通体系へのニーズの高まり

施策検討の基本的方向性

- ・ 冬期などの厳しい自然気象においても「事故0・安定輸送」の実現を目指す。
- ・ 誰もが平等に、快適で楽しく移動することのできる社会の実現を目指す。
- ・ 環境にやさしい公共交通の利用を促進する。